



プール開きで喜ぶ大田小のこどもたち

議会だより

せら



世羅町

No.3

平成17年8月10日発行

■今月の主な記事

- 議会審議2P～3P
- 一般質問4P～14P
- 委員会報告15P～17P
- 平成16年度前期決算審議 ...18P～19P
- グループ訪問20P

主な記事

結果を採る

財政推計がみえない中 過疎自立促進(H17年～20年) 計画徹底論議

過疎自立促進計画

は、新町の将来像をになう大事な指標であり、町の姿を町民の共通目標として具体化するものである。新町建設計画では町の将来像を「人と自然が輝くまち」と設定し、5項目の基本目標を設定し、快適な生活環境の中で、健康で豊かな生活を営むことのできる地域社会の実現を目指すこととしている。議会も財政推計の見通しに鮮明さに欠ける答弁が続く中、現実はこの計画が達成でき得るのか、徹底討論を繰り返しても、見通しを探る事は、出来得なかったが、目標達成にむけて努力して行くという町長の固い信念のもと、反対討論のある中、多

数決で採択に決した。

審議経過

職員が多過ぎる。削減を計画の中にいれるべきでは。

定員削減計画も考えている。県の委譲事務とのからみもある。本年度中には発表する。

多額の起債が財政を圧迫する。財政計画の資金調達の方法、並にH21年末の借金残高は。

建設計画の中では、66億円あまりの合併特例債を充当する計画であったが、過疎債の場合は充当率100%で有利。その年の金額がはっきり出

る。又借金はH17年度15億程度の借り入れ、H20年までいけば289億、最終的に192億位の残高となる。

少子化の進む中で、給食センター、小学校の統合を考えているのか。

今は小学校統廃合にかかる計画はないが将来的には視野の中にいれて考えねばならない。給食設備も子供たちが減少してくるので将来的には考えていく必要がある。

旧世羅町庁舎跡地に幼稚園の話があるが、現況、13の保育所の今後をまとめた上で、幼児教育を考える必要があると思う。

周辺の状況は民営化が急速に進んでいる。保育所についても所得のない方からもらっている、是正しようとする動きが

ある。関係者の意見を聞きながら議会へも相談する。

継続事業を優先しているが財政難の折、費用対効果は、事業執行しないのではなく、待つという事でも必要では。

危機的状況を打破するため 議員全員で行財政改革調査特別委員会を設置、 行財政大綱づくりに挑む

国は厳しい財政や、少子高齢化による人口減少時代を目前に控え、国、地方を通じた厳しい財政状況の中で地域にふさわしい公共サービスを提供するシステムに転換し、具体的な取組を集中的に実施するため、H17年度を起点にH21年度迄の『行政改革の見直しと集中改革プラン』をH17年度中に公表するこ

思いきった見直しも必要だが住民の理解が大変、最終的には町長の判断であるが、局部的改良という対応もできるし、財政によっては変更も考えてゆく。

とを指針、我が町においても、町行政の取り巻く環境は、依然として極めて厳しく、特に財政においては危機的状況に或る。国の指針は受けなくても今は町単独でも取り組む課題である。そこで町は行財政改革推進本部(5月1日)を設立。議会に改革基本方針を説明。専門委員会を設置し素案の検討にはいる

6月定例会

主施策の論戦

という。議会として住民福祉の削減、地域活性化の停滞、財政推計の見通しの甘さなど、小さくてもキラリと光る特色あるまちづくりをめざしながら、ほど遠い現実をみるとき、常任委員会で調査をし

ながらも議員全員で厳しい調査をし議論する中で、厳しさを共に現実化し、意識改革にのりだすことが重要との判断のもと、特別委員会を設置し調査する事に決定した。

指定管理者制度導入 公の施設13施設を民活検討 まず農業公園施設を 指定管理者制度で

地方自治法の改正により公の施設の管理は従来の委託制度に代わり、民間のノウハウを幅広く活用し、経費の節減、住民サービスの向上を図る目的で指定管理者制度が導入される、今、公の施設13施設の導入を検討し18年9月迄に管理条例を改正しながら移行する予定。まず来年4月開業をめざす農業公園施設の指定管理者導入がある。そのため公園の管

理条例施行規則、公園運営規則の議決を求める議案の提出を受ける。審議過程の中で、集客をどう求めるか議論の中、多数決で採択とする。担当する公園課の熱意と意気込みが、だんだんと高まって答弁にあらわれ、たのもしさを感じる。後にひけない事業、積極姿勢でリーダーシップを発揮してくれることを願う。

工事請負の締結議決 落札率90%台は、 今後の検討課題

工事請負5件の契約締結議案を、多数決で採択。

審議経過

Q 合併したが旧町単位の業者に選定基準を定め発注しているが、競争原理をとりにれた入札執行はできないか、落札率も90%以上が続いている今後は。

A 当分の間は旧町単位で対応し、状況を見ながら総合的に判断する。

Q 業者の指名は、選定委員会にかけているのか。

A 旧町で指名されているランクにより指名。委員会にかけている。

Q 業者はどれも厳しい経営、均等に発注配分してゆかないと経済格差が生じるのでは。

A 継続事業中心であるが均等になる様意識的に考えた配分をしてくている。

Q 町外と町内では資材単価が違う。町内業者も競争できる力をつけて欲しいが町外からとれば、経済効果は見込めない実態は。

A どこでとるかには営業努力なので町外からとる場合もある、効果ある様今後指導してゆく。

議員提案

一、分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書。

分権時代に対応した新たな地方議会制度を構築されるよう強く要請した。

二、地方の道路整備の促進に関する意見書。

尾道松江線をはじめ、高規格幹線道路から地方道にいたる道路ネットワークの早期整備を図られるよう要望した。

三、せら県民公園と農業公園の一体的管理の要望書。

せら県民公園の指定管理者の決定については、せら農業公園の指定管理と同一の団体にその管理を指定していただくよう要望した。

を問う



ハローワーク

Q 新町での失業対策は

A 既存企業等の活性化新規企業誘致を図る



松本秀治議員

●松本 雇用改善、雇用の創出をどのように考えるのか、また、ハローワークが出張所から分室に縮小されたことに對しての考えは。

長期に渡り厳しい状況が続いている。町内では、農園や大型店舗の出店等、雇用総体の拡大は図られている。また、既存企業等の活性化や新規企業誘致を図り新たな雇用の場を確保する等の取り組みが重要である。ハローワークについては、要望を重ねていくことにより、維持したいと考える。

Q 安心の町づくりについて

A 相談業務を実施

●松本 世羅町安全と安心の町づくり条例が提出され高齢者の生活安全対策とあるが、具体的にどう考えるか。

■町長 高齢者を狙った犯罪が多発している。現状をすばやく把握し、防災無線・町広報などにより対応しながら相談業務を実施する。また、情報をいち早く入手し住民への相談業務に役立ててゆきたい。

Q

行財政改革の進捗状況は

A

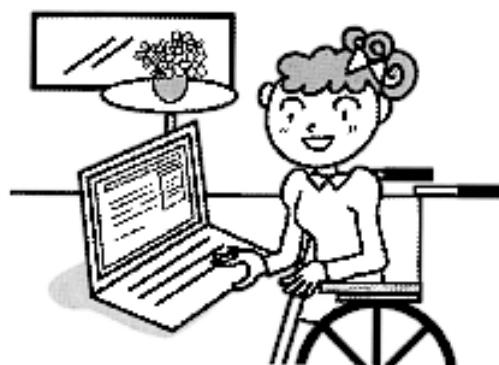
民意を取り入れシステム作りに取り組み



竹本道紀議員

●竹本 合併以来9ヶ月になるが、行財政改革は順調に進んでいるのか。昭和の町村合併とは異なり平成の合併

は「アメとムチ」を合わせ持った行革としか見えない。がしかし後戻りは出来ない。行政のスリム化・制度の簡素化、職員のやる気などは特に気になるところ。合併協議会で約束したものの、財源不足は大変きびしい状況と認識している。金が無



いから仕事が出来ないと言う答弁はいらない。小さくても光る存在感のある世羅町をつくるための施策に向けた改革の進捗状況を問う。

■町長 本町の行財政を取り巻く環境は、極めて厳しく、特に財源においては、危機的状況にある。今後とも、「小さくてもキラリと光る特色あるまちづくり」を持続的に可能とする行財政システムの構築を行う事が、責任者として住民に対する責務と痛感している。財源不足ではあるが、住民意見を十分取り入れながら効率的に活用できるシステム作りに取り組む。改革基本方針にある概略策定スケジュールにもとづき内容を明確化し、検討資料の作成を6月中に完了する。



法人による農作業

一般質問

町政

診療科目の充実、運営についても、中核病院として、経営改善の努力と今後について伺

●矢山 病院の経営を見ると、安心できる病院として改善が必要である。

Q 信頼される中央病院は
A 病診連携をはかり体制強化

診療体制の充実と救急医療、病診連携により医療ニーズにこたえる。医師の確保に向けてさらに努力をしてゆく。

●町長 H16年度は7千400万円の赤字の見込みで報酬単価が下がり、医師不足、患者負担増により、患者が減少している。

う。
■町長 行財政改革と児童の保護者ニーズを総合的に判断し、将来を担う児童育成に向け旧世羅町庁舎跡地に幼稚園を民設民営方式で誘致をする事を一案として考えている。保育所再編整備は幼稚園誘致の動向や保護者の意向に配慮し整備方針を

●矢山 16年度米価の暴落により今後に大きな不安があるが、米価補填と今後の米作りについて伺う。
農政新基本計画は、戦後農政の総決算を進



矢山 武議員

Q 米価の暴落と米作り対策は
A 60kg1, 180円の補填農業ビジョンにより振興を

め、価格を野放しとし担い手だけの対策、そして農地法の解体をねらっているが。
■町長 担い手を育成し、永続的な経営を目指す中で地域ブランド米づくりを推進する。所得対策では60kg1, 180円補填。ビジョンにより、直接支払、国、町の補助により振興を図る。



永田英則議員

Q 保育所、小学校の統合は
A 住民の意志を尊重しながら検討

策定したい。
■教育長 小学校の統合は将来的には避けて通れない。住民の意思を尊重し統廃合を検討したい。

Q 入札状況は
A 財政状況を見極め検討する

●永田 建設物品金融の入札状況業種によつては転業廃業を考える事態にせまっているが、支援制度の考えは。

■町長 4月、5月の入札状況、建設4件、物品16件、金融8件。業種転業については地域企業の分野進出等を支援するものとし地域産業活性化支援事業を計画しており財政状況を見極め将来に向け検討する。



統合されたせらにし小学校

Q 営利企業等の従事制限は
A 農業を除く、営業許可の申請はない

●永田 職員の営利企業許可実態は、(1)報酬を得て従事している職員数、(2)その他営業を営んでいる職員がいるか。
■町長 報酬を受けている職員は42人、件数は48件である。

Q 行財政改革はどうする

A 基本方針にそって実施



中村幸雄議員

●中村 行財政改革の次の基本方針について伺う。

①事務・事業の再編・整理は

②民間委託等の推進は

③地域協働の推進は

④第3セクター等の検証は

⑤定員管理及び給与の適正化は

⑥経費の節減合理化等

財政の健全化は

⑦公の施設の廃止統合は

■町長

①効率的かつ住民ニーズに合致した事務事業の確率と組織の構築をする。

②指定管理者制度を活

用した公の施設管理等の民間委託を推進する。
③住民と行政が一体となった協働システム構築をする。
④町が出資する法人については、その経営状況等を点検評価し情報公開の手法の確立をする。
⑤定員適正化計画の作成。住民の理解が得

られる給与制度・運用・水準の確立をする。
⑥人件費の抑制、物件費等の削減など内部努力の徹底を図る一方、簡素で効率的な事業施策の構築による持続可能な財政の運用を行う。
⑦未利用公有財産を再点検し、利用見込みのない財産については、処分を検討し、将来の本町の推定人口を踏まえた公の施設の利用を検証する。



●高本 市町村合併も一段落し、今度は県からの事務移譲が予測される。県からは話があるのか、あるとすれば、財源は。



高本正琢 議員

Q 県からの移譲事務は
A H18年度福祉事務所を設置



わかり易い看板が欲しい交差点

■町長 県は昨年11月15日に分権改革推進計

画を策定し、これからの国、県、町の役割分担を明確にし、事務、権限移譲を、5年間で言う計画である。本町は5月25日に県と協議に入り「広島県・世羅町事務移譲具体化協議会」を設置し、H18年度福祉事務所の設置を協議している。財源は、委譲事務交付金、公共事業移譲交付金・普通交付税等で措置される。

Q 分かりやすい道路標識を

A 関係機関と連携し設置

●高本 町外の人から世羅町へは時々行くが、町内の道路網がわかりにくい、また県道や町道の交差点近くの地元住民からも、道案内を度々聞かれる。来春は農業公園もオープンする。町内の主要道を総点検し分かりやすい標識を設置すべきでは。

■町長 花観光等への案内標識は観光協会と連携し、農業公園、県民公園の関係は、県と連携して設置をしてゆきたい。今後は、それぞれが勝手に設置することを改め、関係機関と連携協議し設置に努める。

Q

中学校教科書採択の方針は

A

教科書選定は公正・適正に



水間 茂議員

●水間 教育目標達成のためには、学習環境であり、教材であり、毎日使う教科書である。中学校教科書の採択にあたって、その方針や手続き、そして責任と権限についての基本認識を伺う。

■教育長 法に基づき、県教育委員会の指

導助言のもと責任を明らかにして組織、手順を明確にすることとなっている。世羅郡教科用図書採択地区選定委員会を設置し、特徴を明確にした資料を作成して意見を答申するよう諮問、教科ごとに調査員を任命し、調査結果を報告するよう、依頼されている。教育委員会は、適正で公正の原則に則り、地域の実態に即し、児童にとって適切な教科用図書を採択していきたい。



Q

高速道を町づくりはどう生かす

A

まちづくりに大きく影響地域住民の皆様と一緒に検討

●水間 町づくりの視点から、甲山インター（仮称）周辺の土地利用や整備計画の構想を伺う。

■町長 世羅町の活性化に大きく影響するものと考え、県企業局や産業振興総室などと協議しており、地域住民の皆様との連携を図る中で、まちづくりの観点から検討する。第2インターについては、賛否両論ある中でその可能性について、関係機関と協議中である。



岡田武士議員

Q

合併特例債は甘いアメ玉か苦いアメ玉か

A

特例債事業はせらにし消防施設事業1件のみ

●岡田 今一度特例債について伺います。90億円の新町予算での活用は

■町長 特例債の対象事業としては、一つ目は建設計画に基づく特に必要な事業又は、市町村振興のための基金造成に要する経費で地方財政措置の拡充通知に基づくもの、二つ目に上下水道事業及び病院事業について合併に伴う経費の内、特に必要と認められる経費に対する一般会計からの出資、補助である。本のH17年度予算は、



合併によって過疎債の枠が大きくなったほか、辺地債に移行した事、又事業の縮小等で過疎債対応ができるものがあるため、せらにし消防施設事業1件の予算化である。今後は公債費比率の増加する事のない様、起債の有利な借入れに心がけてゆく。

Q

古城山展望台の管理はどうする

A

経費のかからない方向で検討する

●岡田 旧甲山町のシンボリックな古城山展望台の維持管理をなぜ放棄したのか。

■町長 S63年7月に完成、ふるさと創生基金と地元篤志家の浄財で建設、財政の危機的状況により、やむをえず閉館する、今後は経費のかからない方向で施設開放にむけ検討する。



小川信晃議員

●小川 日々発生するこの悪臭を嗅ぎながら生活を余儀なくされている実態を、企業は勿論のこと行政サイドは何と心得ているのか。調査、指導、助言などしていても、一向に成果がみえない。法による解決法を求めるならば、2ヶ月に1回の測

定データは必要、予算増ができるか。施設の改善はどこまでが行政が対応するのか積極策がみえないが。

■町長 先日焼却施設の立入調査を行い県が指導したが効果的な改善には至っていない。悪臭測定は関係機関と連携し測定回数を増しデータ蓄積に努める。畜産施設の導入事業としてバイオ技術を導入する補助事業を検討、今後企業と連携解決に努力する。

Q 臭気防止策に積極的対応を
A 測定回数増、畜産施設補助事業の導入で検討



臭気測定中

●小川 (1)仕事の共有化が計られていない(2)事務事業が個々自由で統一化がない(3)公民館に配置する行政職員の効果が薄い(4)会計処理方法の見直し等、急務を要す課題は決断、実行よりない。首長のリーダーシップを願うが。

■町長 (1)全職員を対象に研修会で現状認識と課題をあげ共有化をねらう。(2)効率的な事務処理体系を確立してゆく。(3)生涯学習の推進が強化された中、住民自治の振興支援する立場で今後関わってゆく。(4)財務会計システムの導入を検討してゆく。全て可能なところから実行する。

Q 行財政改革ではできるところから決断
首長のリーダーシップを願う
A 可能なところから実行する



西田美喜男議員

●西田 住民生活に密着した要望を受ける、職員が急行し調査する。

費用があまりかからない時は、その場で職員が処理をする。

県土木・国等に関連する工事関係部署で調整し、すぐ要望者に回答するなど、いろんな要望に「すぐやる係」を設置する考えに、町長の所見を伺う。

■町長 「すぐやる係」の名称は別にしても、行政の目指す迅速な住民サービスは、同感である。町職員全員が「すぐやる課」の自覚を持ち業務を迅速・的

Q すぐやる係の設置を
A すぐやる課の自覚で

確に遂行することが、住民サービスに一番重要と考える。

Q マンモグラフィ(乳房X線撮影)検診を低額に
A 検診料検討する

●西田 死亡率が増えている乳がんの早期発見に有効なマンモグラフィ(乳房X線撮影)が全国的に導入され、

本町は5月の検診から実施し大変喜ばれている。早期に発見できれば手術も簡単に済み、乳房を温存でき、医療費の節減になる。検診料を低額にする考えは。

■町長 検診料金は老人医療受給者の方、町民税非課税世帯の方は無料、その他の個人負担金は2,300円、5月の検診は461人受診、265人が負担。

今後検診が受けやすい体制づくりに努め、検診料も検討する。



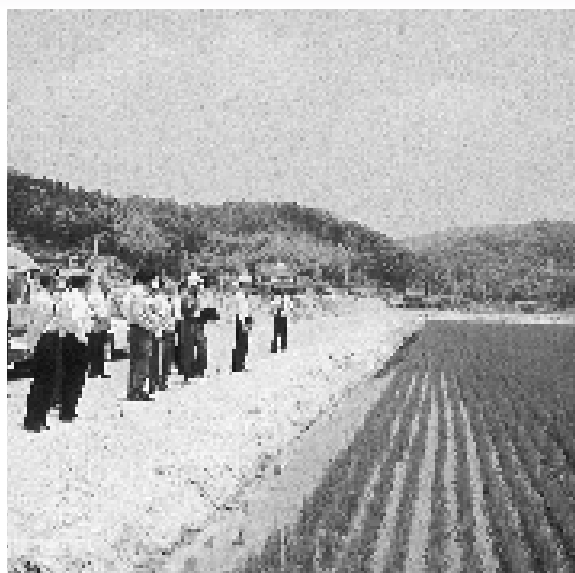
●田坂 あまりにも、せまく圃場整備効果が出ないため、構造改善事業の対象にもならず、自分の家の周囲だけはと管理してきた田



田坂 進議員

畑も、高齢化に伴い維持管理が困難になっている地域がある。依頼して管理を頼もうとしても、周りも高齢者、また雇用して管理しようとしても、年金ぐらしくは、資金負担が大変である。町長は、どのように考えておられるのか伺う。

A Q 小規模農家・圃場をどう生かす できる限りの条件整備で



ほ場整備状況を調査する委員

■町長 少子・高齢化が進むなか、小規模農家の農地保全是深刻な状況にあることは、認識している。町としても、圃場整備、団体営事業（5 ha以上）を活用し、可能な限り地区や面積を拡げて、国・県の補助事業を活用し極力整備を進めてゆく。また、小規模対策については、担い手の農業生産法人・認定農業者・集落営農の推進によって対応をお願いし、それ以外の地域については、中山間地域直接支払い制度、水田農業構造改革交付金、又町独自の世羅町農業振興対策補助金事業等、地域の知恵を結集することにより有効活用し、郷土の農地を守って頂きたいと考えている。

■町長 (1)財政的な課題は、行財政改革大綱を策定する中で検討したい。(2)基本的には、153全ての事務の移

●松浦 広島県は行政スリム化の名のもとに9項目にわたる移譲事務を掲げているが、(1)まわりの市と同様に事務の移譲を受けては、専門の県職員の受け入れなど、さらに、財政を圧迫するのではないか、(2)小規模の自治体は、すべての委譲事務を受けなくて良いはずでは。(3)町長自らが、行財政改革推進本部長を、勤めるべきではないか。



松浦敬潤議員

A Q 分権改革をどう取組むか 財政を圧迫しないように移譲をうける。

譲を受ける考え。(3)助役を中心に進めてゆきたい。

A Q 検討すると答え た3項目のその 後は それぞれに進め ている

●松浦 (1)CATVを視野に置いた地域高度情報化は。(2)公共下水道工事の見直しは。(3)携帯電話による地域防災・防犯システムは。



下水道認定書

■町長 (1)4月初めに策定方針を固め、5年間の実施計画で準備を進めている。計画策定業務委託先を決定し、住民アンケート調査を準備中。(2)現在、一人あたりの下水道使用量、人口動態、建設費、維持管理費の整理と事業予測を行っている。9月議会には、素案を提示したい。(3)防災・防犯・交通安全などについて、地域社会のネットワーク化を目的とした、アクションプランを早期に策定し、示せるよう作業を進めている。



期待される地域の活動拠点の公民館

Q

協働のまちづくりに公民館は

A

住民自治組織と教育委員会



仙光保喜議員

●仙光 新町になり縦割りが鮮明で各課の連携も噛み合っていないのが現状で、住民自治組織

の構築にも自治振興係だけが携わっている状況だ。今後自治振興係だけが住民自治組織との連携をとる窓口となるのか。旧世羅西町では社会福祉協議会の母体として振興区、振興協議会組織があり教育委員会の所管で公民館との

関係が欠かせない。新町で住民自治組織の役割の大きくなる中、公民館はどこまで係わりサポートするのか。

■町長 基本的な考え方の構築を手始めに、「住民自治の振興による住民と行政との協働のまちづくり」についての説明と広報、現在の組織の状況把握、組織化への働きかけ、また財政的支援など進めている。公民館は本来生涯学習の場として「人づくり」を中心に運営しているが、時代の変遷、地域の要請の中、機能も変わり、自治公民館としての役割も必要と考える。職員は自治組織と連携し支援するよう指示をし、企画情報課と自治振興にとりくむ考えだ。職員の意識改革をはかり公民館機能の充実・強化の観点から、地域出身の職員を地域担当員（仮）とするサポート体制を検討している。

Q

遠距離通学補助の統一を

A

公共交通体系の整備と一体的に検討



福田 豪議員

●福田

町内3中学校の遠距離通学補助は、旧町制度のまま、三者三様となっている。3月議会に、一元化すべく条例案が提案されたが、審議されることなく取り下げとなった。このまま放置すれば、根拠理由のない格差を、行政が認めることとなりかねない。早急に統一すべきではないか。

■教育長

3月議会では合意形成ができていないとの指摘で、取り下げに至ったが、今の状況を正しいとするものではない。

一方で、より利便性の高い公共交通体系の整備が検討されておりこれの

行方を見て、早い時期に、制度を定め統一すべきと考えている。

Q

給与・報酬の考え方

A

検討中である

●福田

財政が逼迫した要因は、過去に起因するものから現在進行形のものまで様々と思う。

給与・報酬については、社会・経済情勢また近隣町等との比較やバランスもあるが、優先すべきは、財政力が、現在そして将来を通してあるか否かと考える。またその責にある者は、つねに的確な判断を、求められるのではないか。

■町長 4月から給与のカットを実施中であり、一方で定員管理計画を策定中である。

計画を樹立したとき、近隣との比較、人事院勧告を参考に考える。それまで現在の水準を変えろ考えはない。



さわやか笑顔で自転車通学



社会就労センター みつば

Q 障害者への支援策

A ショートステイ等の事業に取り組む



玉谷 隆議員

●玉谷 障害者の自立と社会参加が今強く求められており、障害者の求めに応じてサービスの提供される体制づくりが必要である。障害者が住み慣れた地域で家庭や地域と

のつながりを保ち安心して生活してゆくために、相談体制の充実、経済的支援体制の整備を進め、生活の質を向上させることが早急に求められているが。

■町長 来年4月から福祉事務所開設に向け準備をする。障害者福祉計画には、障害者の生の声は勿論のこと家族や関係者の方々の声も十分に反映させ町内

に居住される障害者の方が安心して住み続けられる町づくりを目指す。又授産施設「みつば会」とも連携してショートステイ等の事業を積極的に進めてゆく。

Q 新交通システムの進捗状況は

A 実態把握にアンケートを実施している

●玉谷 子供・高齢者といった交通弱者の日常的な移動手段(交通)が極めて大事である。町民誰もが利用できる新交通システムの進捗状況は。

■町長 今年度デマンド交通検討調査費に350万円予算化し、現在交通システムの実態などを把握するため、町老人クラブ連合会でアンケート調査を実施している。町民が自由に利用しやすく気軽にかけられる交通手段を考えてゆく。

Q 旧世羅庁舎の活用は

A 民設の幼稚園を考える



徳光義昭議員

●徳光 幼稚園の誘致には賛成だが、(1)統合予定の保育所名、規模、運営は、(2)全町の保育所統合整備計画は、(3)早急に住民説明会の開催を、

■町長 (1)全町域を通

所範囲とし、定員180人、大田、甲山保育所に影響が大、指定管理者制度で運営し、将来は幼保一元化しファミリーサポートセンター、子育て支援センターを設立したい。(2)新町建設計画で、将来は5施設に再編整備したい。(3)地元住民、保護者説明会を開き理解を頂きたい。



跡地対策に悩む旧世羅町庁舎

Q 県民、農業公園の集客方法は

A いやしのサートビスとイベントの実施

●徳光 来年4月開園の県民、農業公園を拠点とした。(1)年間安定した集客システムは、(2)スポーツイベントは、

■町長 (1)県農業公園は野外レクリエーション施設と6次産業ネットワーク、フラワービレッジ、産直市場、果樹農園、観光協会等システムを確立し、町内イベントの連携、ワイナリーレストランの四季に適したイベントの開催、観光協会へのPR、インターネットの情報発信、周遊ルートの設立など心に残るいやしのサービスの提供計画を準備中である。(2)ゲートボール、グラウンドゴルフ大会など開催し公園全体のリピート客増を図りたい。

Q 自治振興のあり方は

A 組織の運営も自立して



奥田正和議員

●奥田 特色ある地域づくりといいながら団体まかせに思える。事務処理の統一化、活動への指導体制を明確にするべきでは、

■町長 財政的支援を活用し研修や活動発表会、視察を行い目的意識と主体性をもった組織づくりをスタートしてほしい。事務処理支援や情報提供を行い、広報誌で紹介してゆく。

Q 個人情報および生活安全対策は
A パスワードで安全確保

●奥田 防犯、防災には地域との情報交換が必要である。行事業内の対応はどうする。パソコンデータは大丈夫か。

■町長 個人情報保護制度の運用状況を点検・評価の仕組みを整備する。パソコン自体にデータを保存せずサーバーで一括保存している。パスワードで他の者は操作できない。移動媒体の制限を行っている。



イメージの悪い歩道上の草

Q 町内観光拠点を結ぶ路線の整備は
A 安全で住み良い町づくりを目指す

●奥田 改善要望箇所への対応と調査はどうしているのか。観光客への交通対策と、クリーン作戦の内容は。

■町長 交通安全対策審議会で整備順位を定め計画的に実施し可否経過を要望者に報告している。観光イメージを高めるため、警察と連携し防止対策を講じる。草刈用燃料支給を行い県のマイロードシステム活用で展開する。

Q 人事評価と役場の雇用状態は
A 機会均等を図ってゆく



田治康德議員

■町長 (1)定員モデルを参考にしながら策定する予定。報酬審議会では予定なし。(2)今後してゆく。(3)現在調査中である。(4)4月現在嘱

託43人臨時46人、予算395万3千円。人件費の増加防止のためで短期配置換えも検討する。(5)担当課が採用起案、関係団体に関して

●田治 (1)速やかに策定する等の職員定数適正化計画と、特別職の報酬審議会の開催は。(2)適材適所が基本、面談は行わないのか。(3)職員の評価制度はどの程度進んだか。(4)職員を削減しないままでの、臨時と嘱託が多い現状の人数と理由は。(5)役場や関係機関に、元職員が再雇用している現状がある。住民と、元職員の平等制はどうか。

Q 財政健全化に向けて
A 国の指標を参考に推計を示して

●田治 目標値は誰が、設定するのか、合併法定協では財政推計を見誤り、確認された協議内容も守れなかったが。



■町長 簡素で効率的かつ弾力的な行財政システムを、構築するため全職員が関わり、住民の意見や提言を取り入れ具体的に積み上げ、国の指標など参考に、効果額を算定し、財政推計を示してゆく。



医師確保に取り組む世羅中央病院

Q

公立世羅中央病院の課題は

A

地域の病院づくりに努力



末盛 守議員

●末盛 病院を取り巻く環境は医師不足と患者の減少など非常に厳しい状況と聞くが。(1)病院の経営状況はH15年1億2千万円・H16年8千万円の赤字決算と聞く。その原因は。(2)医師不足の解消取り

組みは、(3)急患対応は。(4)経営改善はどのような方向策か。
■町長 (1)外来患者はH13年と比較すると1日当たり30人減で、この原因は、薬剤長期投与と医師不足により診療科目の充実が図れず、非常勤医師に頼ったためである。(2)医師派遣をめぐる事件が発生したが、今後、広島地域医療協議会を通して医師確保を行う。(3)

Q ペイオフ解禁後の公金管理は安全か

A 安全を優先して保管に努力

●末盛 多額の公金を保有する役場は安全でかつ有効な公金管理運用に努めるべきと考えるがどう対処されているか。
■収入役 預金と借入が相殺できることを利用して、その範囲の中で普通と定期預金で管理運用している。

更に充実を図るには、循環器内科医、脳神経外科医、整形外科医の確保が重要な課題で努力をする。(4)将来の姿を考え、病院運営委員会を持つ。
●末盛 (追加質問) 土曜日診察を開始してはどうか。
■町長 検討をする。

Q

せらにし支所の運営は

A

地域に密着した住民対応を



仲行 洋議員

●仲行 せらにし支所は合併の際、本庁より距離が大きく離れているため、住民の利便性を考慮して設置されたにもかかわらず合併後6ヶ月で職員25人体制から5人削減の20人体制になっている。地域住民は役場が支所になつて寂しく、また不便になったと実感している時期、わずか半年でなぜ5人も削減されたのか理解できない。町長は、西部地区は他地区と比べ事業がすでに出来ているとの認識か、または町全体のことを考えての人事か所見を伺う。

■町長 支所の業務については、本庁と連携を密にし住民サービスが低下しないよう、全職員を挙げて事務処理の迅速化や利便性の向上を図り地域に密着したきめ細かい住民対応に努める。4月の人事異動では世羅町全体から見ると、退職者等18人の減になっており、やむをえない措置であった。しかし、町民福祉課は、母子保健・老人保健事業において本庁一局集中型による運営で、きめ細やかな住民サービスを行い、その他の課でも本庁との相互補完に努めるなど、住民の方にご迷惑をかけるような努力をしている。



せらにし支所

Q 「寺町で火事」煙は池田

大字の飛地変更やります



豊田 勲議員

●豊田 「寺町で火災です」と放送しても煙は池田から、と、大字の飛地が不都合を招いている。本郷が東神崎に、寺町が本郷に、西上原が甲山にと数多い。それ故の歴史があるが、地域住民の求めがあれば、町は大字の飛地を無くする努力を。

■町長 大字変更は町議会議決、県知事へ届けで可能。変更には関係者全員の協力が不可欠。町は変更同意のある地域から進めたい。



議会クールピズ風景

Q ノーネクタイと温暖化防止を

軽装を進める

●豊田 国会では今ノーネクタイ、開襟が主流とみる。軽装にすれば節電で、地球温暖化防止策にも繋がるがどの

ように進めるのか。他の対策は何か。

■町長 温暖化防止に町も取り組む。「ノーネクタイ、ノー上着」を提唱し、お客様には軽装での失礼がないよう周知する。車のアイドリング防止、終業時外は消灯をしている。

Q 憲法を暮らしの中へ

恒久平和と町民生活を守る

●豊田 今の憲法は、世界に先がけて「いつさいの軍備をもたず、あらゆる戦争をしない」と世界中に平和を呼びかける国となった。自衛隊がイラクに行っても、武力行使出来ないのは平和憲法の力だ。憲法を守る努力を。

■町長 憲法の恒久平和の理念を町民生活に生かし、憲法を守る。

議会傍聴

僕が、私が議員になったら夢を抱いて
(小学校6年生13人静かに傍聴)

6月14日(火)の世羅町議会本会議に、中央小学校6年生13人は2人の先生とともに約一時間の傍聴をしました。議会規則により、未成年者の傍聴はできませんが、議長の許可により実現したものです。後日8人の生徒より感想文が議長のもとに届きました。大変、真剣な議論がされていたという感想を一緒に僕が(私が)、議員になったらと思いを書いてくれていました。

たい。

◎農園や公園を作りたい。

◎みんなに信頼される人になり、みんなが喜ぶ町を作りたい。

◎人の意見を聞いて、人の役にたつ人になりたい。
最後には、これからも体に気をつけて頑張れと励

議長に聞く

6月定例会後広報委員会は議長にインタビュー

Q 財政危機をのりきるため、全員で行政改革調査特別委員会を設置、住みよいまちづくりを目指したいが議長としての意気込みは。

A 「サービスは高く、負担は低く」でスタートした合併も、現実には国の三位一体改革による交付税と補助金が減額し、そ

ましの言葉も書いてありました。子どもたちが居ることもわからないくらい、大変静かに傍聴してくれました。席に限りがありました。たくさんの子どもたちに見聞を広めて欲しいと思います。6月定例会の10日間で80人、一般質問の2日間は57人の傍聴者があり満席の状況でした。議会について又、内容についてのご意見もいただいています。

れに見合う財源移譲も言葉通りには実行されていません。これからも充分な期待ができない状況なのかで町としてもあらためて行財政をみつめ直し、無駄をなくし限られた財源を有効に活用し、住民生活の安定を目指すなければなりません。議会も住民に一番近い立場として改革に取り組むべく全員賛成のもと、特別委員会を設置した事は誠に意義深いものであり、住みよいまちづくりの一步でもあると思っています。

“報告”

委員会のうごき

■ごみ処理のコスト削減は ■保育所再編計画は

厚生常任委員会

***ごみ処理のコスト削減は**

ごみ収集業務委託契約については、H16年対比一割削減で委託契約している。他の町に比べて高いことについては、今後の処理計画に反映させる。また、

古紙の処分については業者処理料を支払っていたが今年度より業者に1kgあたり3円で買い取ってもらうことにしている。一般廃棄物については、一般廃棄物処理計画策定事務をすすめている。



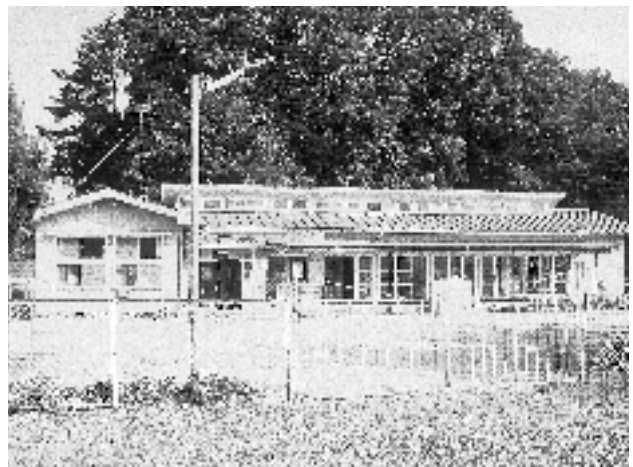
ゴミ収集車の収集風景

***保育所再編計画**

保育所の現状は、13施設（分所一カ所を含む）で、甲山・大田保育所を除いて41人以下の小規模保育所である。職員配置は、所長を含め保育士41人、正規職員の調理師7人、嘱託を含め常勤臨時24人、合計72人体制である。

保育所の課題

①未満児保育の要望が非常に高くなっている。



津久志保育所

②保育所の運営については、国・県の負担制度が廃止され財政的にも13保育所の体制をどうするか。

③小学校もない地域では、コミュニティの中心施設、今秋までに、保育所再編整備の意向調査を行う。

H18年9月議会をめぐりに再編整備案をまとめたい。

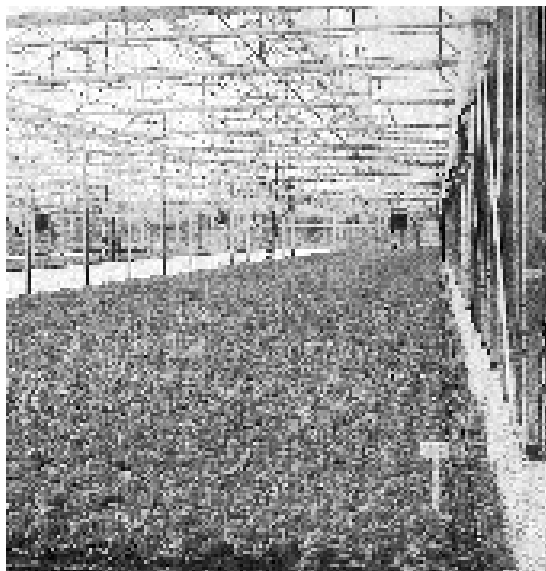
世羅台地にハイテク農業稼働

産業建設常任委員会

＊日本農園（現地調査）

H15年より敷地造成、H16年度建家完成、H17年5月より初出荷サラダ菜栽培の一大基地が誕生した。（市場シェア4分の1）敷地面積1・5haの中にカナダからの技術導入により、温度・溶液（肥

料）管理し無農薬栽培している。浮かべられた発砲スチロールの中でスクスク育っている。栽培周期は40日で、年間5百万個の出荷を計画している。販売目標2億2千5百万円、総事業費8億8千万円、雇用は35人程度。



温室の中ですくすくと成長するサラダ菜

＊世羅菜園

待ち望まれた、2期工事が完成する。総面積8・22haで日本最大のトマト農園が誕生した。オランダからの技術の導入で、働く人の無理・無駄を極力削減したシステムであり、環境にも配慮されている。雇用はピーク時で200人程度。この2ヶ所の農園とも、安心・安全な食物供給することを目指している。

＊世羅ゆり園

7・7haの広大な農地に、ユリを主体とし長期間楽しめる観光農園を目指している。H19年には来園者9万人を目標にしている。雇用は目標年度で25人程度。

他に、西伊尾地区の圃場整備・町道正連寺線・町道石山線の現地調査を行う。

子供の安全対策を最優先

総務文教常任委員会

＊学校の安全・防犯・防災は

各地の学校で不審者侵入事件が発生し町内の安全対策を大田小学校において現地調査を行う。

地震・事故発生時の対応、防災・防火訓練計画、救急及び緊急連絡体制、不審者対応避難訓練などきめ細かな計画や、訓練が実施されている様子を知ることが出来た。教育委員会、町内の学校、教育施設において安全対策を最優先し事件・事故のないよう最善の努力を求めた。

＊財政推計は

財政推計総括表の資料が提出され、説明を受ける。歳入・歳出の

数値の根拠となる資料の提出と説明を受け一定の理解はすすんだが、今後の財政事情が好転することは望まらず、最新の統計資料等にもとづき、よりの確な推計を行い、町財政の安定・確実さを求める。

＊税収の今後

所得税については、給与・年金・農業・営業などの項目に分けて旧町別・各地区別の集計表。町民税では、個人・法人別のH17年度税見込みの説明を受ける。これから先は、今まで受けていた種々の控除が廃止・縮小となり町民の税負担は増大する見込みである。

＊北部分署世羅西出張所消防業務の経緯は

北部分署から遠隔の地にあり、救急車の到着に時間を要するため出張所設置の要望はしているが、消防車の設置は要望していない。

しかし、ポンプ車、指揮車等導入の方向に変更している。当初の要望から変更に至った経緯・手続き・期日など明確でなく、又運営主体三原消防が前面に出て、世羅町として主体性が薄く感じられ引き続き調査する。



大田小学校の英会話授業

待たれるI・C周辺整備計画

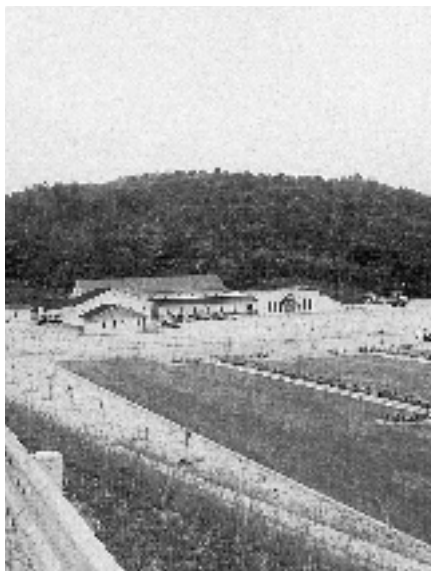
尾道松江線対策調査特別委員会

進捗状況

甲山I・C以南については、発注の宇津戸第2トンネル(7月下旬発注予定)を除いて地元対策協議会の了解を得て着々と工事が進んでいる。甲山I・C以北は東上原川尻赤屋地区では用地測量中、砂田・播反地区は物件調整中、買収用地の単価はH18年度になってすべての対策協議会同時発表の予定。

第2インターは

この高速道路は国土交通省の直轄事業となり、通行料金が無料化になった事で第2インターを設置すべきかどうかの問題がでてきました。県も設置する事には今のところ異論はありませんが財政負担の問



ほぼ完成したワイナリー施設

題で、町に委ね様とする考えがある。いずれにせよ、観光産業で世羅郡内に120万人の集客を考えた時、1つのインターだけでいいのかどうか、経済効果、交通対策、防犯面など、様々な角度から調査し、将来的展望にむけての方針を明確にすべきである。依ってI・C周辺整備計画を早急に立案し、方向付けを示す必要がある。

●進捗状況
進入路については、フルーッロードから町道大迫東山線から公園入り口まで890m中工事進捗率は44・7%、県民公園は全体工事63ha中1期工事分22ha中66%である。尚、駐車場は当初の計画500台から193台に縮小された。農業公園は、ワイナリー施設や付帯施設、本体は、お

レストラン施設着工 来年一月末完成

県民公園建設調査特別委員会

おむね完成し、レストラン施設・直売所の来年1月末の完成を目指して着工した。

●今後の取り組み

- ・ 条例に基づき、セラグリパークを指定
- ・ 県民公園の指定管理者に農業公園の管理者とするよう要請
- ・ 町内での標識、帰路標識等充実、わかりやすい看板等、町・県の役割分担で書き直しまたは設置等に対応
- ・ 県民公園及び農業公園の愛称募集(愛称募集期間7/1～8/10)。農業公園、県民公園を核とし活用し、地域全体の有効活用策を図るためのプロジェクト調査を行う(調査期間H17・7～H18・2)

■採択となったもの

皆さんからの 陳情と請願 このように決めました

- ◎第19回農業委員統一選挙にあたってのお願い
全国農業会議所 会長 大田豊秋
- ◎臭気対策についての要望書
下飯屋地区公害対策委員会 委員長 坂上明登

◎町道正連寺線舗装工事についての要望書
世羅町大字津口 代表者 加藤昇

◎町道成石山線道路整備についての要望書
世羅町大字中原 代表者 實久学

◎通学路(榎橋交差点)に横断歩道設置のお願い
世羅町東神崎 代表者 橋本拓史

◎野球専用球場(ボールパーク)の建設について要望書
広島県軟式野球連名
世羅支部 松浦孝夫 他

■継続審査となったもの

◎保育所運営に関する要望書
世羅町内保育所保護者会 代表者 山根昌子

◎甲山福祉センター使用に関する要望書
世羅町宇津戸 代表者 有地忠江

■断続審査物件の調査

今議会も断続審査となる

◎「憲法改悪反対」意見書採択をもとめる要請書について
憲法と平和を守る広島共同センター 代表 藤本幸作

人事

■選任同意

町長から選任同意が求められ同意いたしました。

◎人権擁護委員
松尾 誠(京丸)

■議会推薦農業委員

議会は農業委員に三氏を推薦する。
隠地美幸(青近)
松村明美(黒瀨)
安井礼子(黒川)

前期分決算審議

(4月~9月)

不認定1件



審議風景

Q 合併時に3億円持ち寄る事と成っていたが旧甲山町の場合、起債と基金取崩しの協議がどうされて執行されたのか。

A 合併前提で予算を組み、3億持ち寄りという事があり、繰越額が少ない中、厳しい予算付けとなった、財政調整基金から繰入れをしてきた。特別交付税が当初より多く歳入でき、基準財政需要額の10%の取り組みをしてきた中で財政調整がされてきたと認識している。

識している。

●基金減と起債増は

Q 旧3町とも基金のとりくずしと起債額が多いが長期的な財政運営が今後できるのか、監査委員はどう思っているのか。

A H16年度合併で6ヶ月の決算であり、当初から予算計上されていた基金と起債を合併前と比べている。起債についても年間決算でないで踏み込んで検討している。

●世羅中央病院負担金

Q 法定の負担額を下回っていないか。

A 法の負担割合に従っている。

●国保会計滞納繰越額

Q 保険税の徴収率が低いのは何故か。

A 中身は詳しく把握していない。合併に伴い年度途中での決算であり、いずれにしても徴収率は低い。H16年度新町からの決算途中だが、滞納繰越は高い数字が出ると思う。

Q 旧世羅町税金の不納欠損収入未済額は原因と理由について。

A 不納欠損の発生は、法的納期限を5年経過すると時効となる。過去に不納欠損処分されなかったものが今期集中した。内容は町県民税51件、固定資産税101件、軽自動車税46件です。

Q 農林水産業費分担金は債務者が経営不振から破産宣告等で全く回収できなかったためである。

Q 旧3町の職員の給与の説明を求める。

A 決算統計集計中である。済み次第提出する。

●旧世羅町国保特別会計の不納欠損取扱は

Q 不納欠損になった理由と件数は何件か。

A 件数は71件です。内容はH3年1件、H5年からH10年まで71件です。理由については詳しい内容はわからない。

●旧世羅西町の一般会計の財産売り払い収入は

Q 収入は旧世羅西町庁舎跡地としないが理由があるのか。

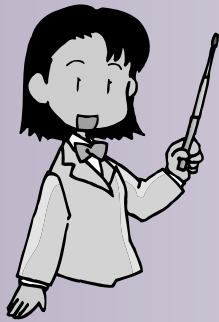
A 内容は旧庁舎、旧役場駐車場の売り払い代金です。調書に未記入でしたお詫びする。

●旧世羅西町国民健康保険税の不納欠損処分は

Q 不納欠損額は件数、内容はどうか。

平成16年度

旧3町全会計



認定21件

A 不納欠損処分は
131万円。件
数17件。調定年はH4

年からH10年度まで、
新町に滞納繰越を持ち
込まないという判断が
された。

●甲世上、下水道企業
団の課題は

Q 住民との裁判費
用、公共河川へ
違法構築物撤去費、駐
車場整備費を否決され
たのに3件とも施行さ
れたがどう思うか。

A 指摘の3件につ
いては15年決算
に含まれ処分されてい
る。裁判費用計上は裁
判が断続中であつたの
で上程したが時期尚早
であつた。駐車場整備
費は上程前に整備工事
が完了していた、合併
がらみで手続上問題が
あつた。違法構築撤去
費は県の管理者から撤
去するよう勧告を受け
たため予算は修繕費を
充当し対処した。

Q 合併前、7月に
問題があるとい
うことで特別委員会を
設置し調査報告を企業
団へ提出しているが何
の返事もない。副企業
長は事務を引継がれて
いるがどう考えている
のか。

A 適正を欠いでは
ないと思う。又、特
別委員会から指摘を受
けたことについて検討
し施設改善に取組ん
だ。



今回の決算は合併に伴う特殊事情の中で、3月定例議会で提案され、本議会で特別委員会に付託され審議された。内容は旧甲山町、旧世羅町、旧世羅西町の一般会計、13特別会計、3甲世上下水道企業団事業会計の決算で、期間は平成16年4月1日から合併前9月30日までです。提案された議案に数ヶ所の訂正があつたり、説明資料不足のため議員から苦情が噴出した。特別委員会は監査委員の意見書を受けた後、審査を行った。審査は「成果と問題点課題の整理が中心となった」基本的な効果について質問が集中した。特に上下水道企業団においては、課題が多く、不認定となった。又、一般会計、国民健康保険会計における不納欠損額が集中して処理されていた。以上のことを踏まえ、指摘した事項については、今後の行政執行に確実に反映されたいと意見を付し決した。

グループ 訪 問

待ちに待ったグループホーム誕生



グループホーム「ふぁみりい」
管理者 梶谷美香

民間企業の支援をえた希望の世羅への誕生は、最後の余生に灯りがみえた第一歩。管理者の梶谷さんは小世良の出身と聞きびくつき、意気込みを聞く。『この生まれ育った緑豊かな世羅の台地で、おじいちゃん、おばあちゃんのお世話をしたい夢をもっていました。その責を私が負うことになり身体いっぱい感謝して。まず人と人とのつながりの中での支援作業なので、入居者、スタッフ、家族の信頼関係を育むことがもっとも大事、地域の皆様も気軽に遊びにきていただき、家族団らんのように暖かいつながりができてゆけるホームができたら最高』と情熱をかたむける若い管理者に脱帽、人間関係のぎくしやくする今の世、久し振りに清い心の持主の頑張りやさんに逢えました。3交替制の24



お世話を「ふぁみりい」の皆さん

時間体制、入居するには、1ヶ月13万円位は、必要とのお話しの中でその額は当然とは思いますが、何人入居されるでしょうか。今高齢を迎えられている人たちが全てが若年は戦争に狩り出され自由を奪われ、後年は郷土の復興に心身を投じ、苦しさ耐え忍び、そのご恩に報いる事はなく、今は、子は子、親は親としての枠の中に閉じた施策に終止する行政実態に一末の腹ただしさを感じました。暖かい住みなれた生活環境の中で、我が子と共に余生を送ることは高齢者の全ての人の願いでもある。老後が安心して住める郷土にする責務を痛切に感じ、又一層の闘志をいただいたの訪問となりました。

編集後記

6月議会で町長は過疎計画、つまりこれからの5年間で世羅町をどんな町にしたいかを議会に発表しました。そして、行政改革推進本部をつくり、その計画を実現するための具体的な方法や、財源の確保、職員数をどうするか、県の仕事をどうするか、一部を受け持つことで、交付金を貰うことになるが、具体的にどんな仕事をやるのかなどを検討することになりました。

推進本部は、年末までに改革案をまとめ、県に提出することになります。す。これからの半年間が、世羅町の将来を決める大切な時期になります。行政改革調査特別委員会で、積極的に意見を述べる一方で、われわれ広報委員会は客観的な立場から、何がどう改革され、どのような財源が確保されたのか、経費は削減できたか、私たちの生活はどうなるのか、子どもたちの将来に何が残せるかなど厳しい目で取材を行ってまいります。

(松浦)

町の進める行政改革基本方針

- ①事務・事業の再編・整理
- ②民間委託等の推進
- ③地域協働の推進
- ④第三セクター等の検証
- ⑤定員管理及び給与の適正化
- ⑥経費の節減合理等財政の健全化
- ⑦公の施設の廃止統合
- ⑧その他

本方針を踏まえ

P (計画) D (実施)
C (検証) A (見直し)
サイクルに基づき、行政改革大綱の策定



議会広報調査
特別委員会

・委員長／小川信晃
・副委員長／仙光保喜
・委員／松本秀治・末盛守
田坂進・松浦敬潤



この広報は、環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は9月です

無線放送でお知らせします。